

Chatter Free

設定の手引き

Chatter Free とは?

Chatter Free とは、コラボレーションのみに制限されたライセンスで、対象は次の機能です:
Chatter Central、プロフィール、人、ファイル、Chatter Desktop、Chatter Mobile。

このライセンスは正式契約のあるお客様に対し**無償**で提供されますが CRM レコードやコンテンツに対するアクセスは**できません**。

注意: Chatter Free ライセンスをご利用頂くには、お客様が 1 つ以上の CRM/Force.com ライセンスを持っていることが前提です。

Chatter Free ライセンスの提供に伴い、どのようなプロフィールが作成されますか?

Chatter Free ライセンスの提供とともに、Chatter Free User と Chatter Moderator の 2 種類のプロフィールが作成されます。

2 つの Chatter Free プロファイルの主な違いは?

Chatter Free user プロファイルは前述の比較表に記載された通りのアクセス権を持ちます。

Chatter Moderator プロファイルは Chatter Free user プロファイルの持つアクセス権に加えて、以下の権限を持ちます。

- 投稿の削除
- Chatter Free user の有効化
- Chatter Free user の無効化
- Chatter Free user に対する Chatter Moderator 権限の

管理者とユーザが行う作業は概ね以下のようになります。

- (1) Chatter Free のライセンスに直接 (データローダを用いての場合も含みます) ユーザを割り当てます。
 - (2) ユーザに割り当てを先導してもらう場合には Chatter Invitation 機能を使います
 - (ア) 管理者は Chatter Invitation を ON にします
 - (イ) Salesforce User は他のメンバーを招待します
 - (ウ) 招待されたユーザがその招待に対して承諾した場合 Chatter を使えるようになります。
- 詳細は以下を参照ください

Chatter Free ライセンスにユーザを割り当てるには?

Chatter Free ライセンスにユーザを割り当てるには以下の 2 種類の方法があります。

方法 1: お客様のシステム管理者が[設定]もしくはデータローダから新規ユーザを作成し、Chatter Free User または Chatter Moderator プロファイルを割り当てる。

方法 2: お客様のシステム管理者 (または Customize Application 権限を持つユーザ) が[設定]から Chatter Invitations を有効化し、許可するドメインを設定する。その上でエンドユーザが他のユーザを invite し、invite されたユーザが承諾することにより、自動的に Chatter Free User プロファイルに紐づくユーザが新規に作成される。

Chatter Invitations 機能とは?

Chatter Invitations とは既存の Salesforce.com ユーザが Salesforce.com を使用していない同僚を招待する新しい機能です。招待され承諾したユーザには Chatter Free ライセンスが割り当てられ、Chatter 機能にのみアクセスすることができます。

Chatter Invitations を有効化するには?

Customize Application 権限を持つユーザのみが Chatter Invitations 機能を有効化することができます。通常はシステム管理者のみがこの権限を持ちます。

Chatter Invitations は **設定 | アプリケーションの設定 | カスタマイズ | Chatter | 設定** から有効化することができます。

Chatter 設定

[このページのヘルプ](#)

Chatter は、ユーザの共同作業、話し合い、および情報の共有などをすべてリアルタイムで行える企業ネットワークです。

Chatter 設定 = 必須情報

Chatter およびグローバル検索機能を有効にすることができます。ユーザが入力レコードをデフォルトで自動的にフォローするよう設定することも可能です。検索ボックスはヘッダー内に表示されます。 [詳細はこちら...](#)

有効化

電子メール通知

ユーザに個人 Chatter 電子メール通知の受信を許可します。

電子メールを許可

招待

社内のネットワークを無料で開放することができます。salesforce.com ユーザが Chatter の salesforce.com ライセンスを持たない同僚を招待することができます。招待を受け入れたユーザは、プロフィール、ファイル、およびグループは参照できますが、オブジェクトの詳細は Salesforce の完全ライセンスを付与するまで参照できません。

招待を許可

電子メールドメイン

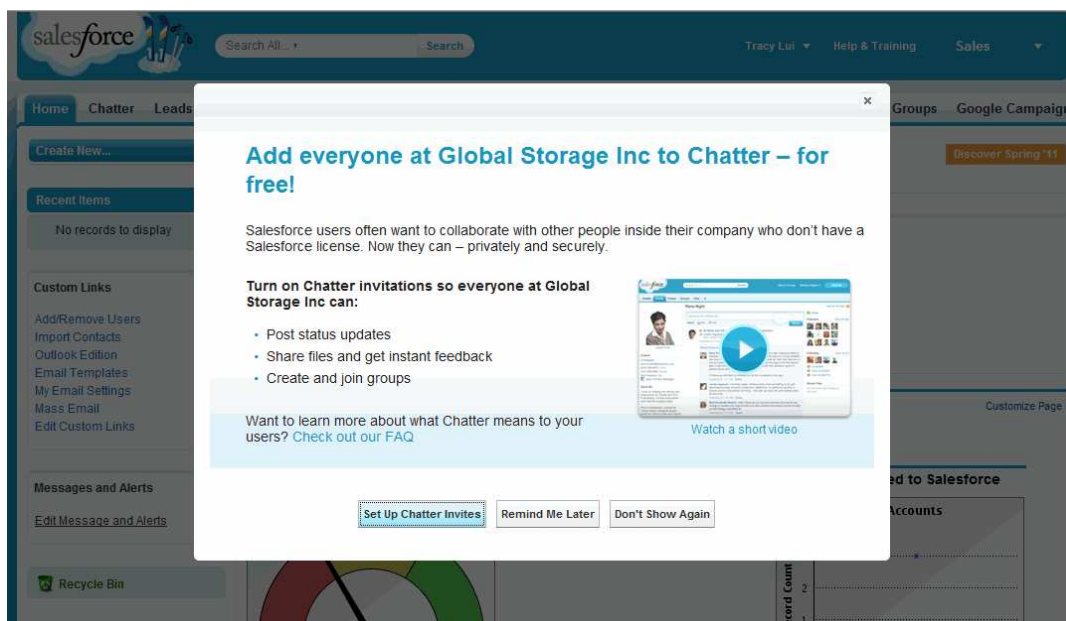
japan.com

i 電子メールドメインを入力する際は、hotmail.com、yahoo.com、gmail.com などを公開ドメインとして使用しないように注意してください。入力するドメインの電子メールアドレスを持つ被招集ユーザは組織の Chatter プロファイル、ファイル、グループにアクセスできます。

少なくとも 1 つのドメインを設定してください。
例: yourcompany.com

システム管理者が Chatter Invitations を有効化し次第、エンドユーザは許可するドメインのリストに基づいてユーザの招待が可能となります。

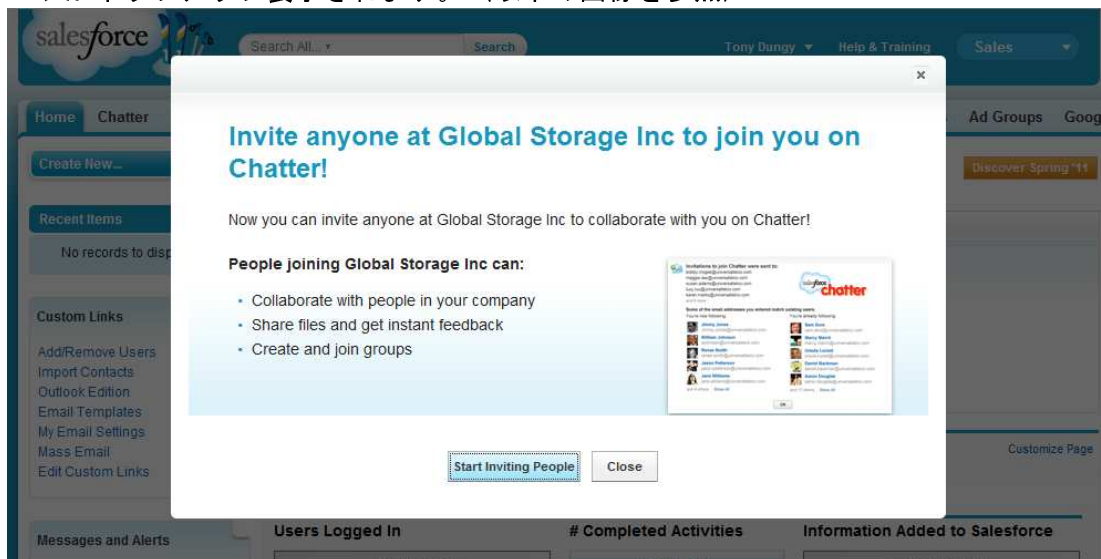
Chatter Free ライセンスが提供されたら、Customize Application プロファイル権限を持つユーザの初回ログイン時に以下のようなポップアップの通知が表示されます。



注意: このポップアップは、Chatterが有効化されている場合にのみ、Customize Application 権限を持つユーザに表示されます。Chatterが有効化されていない場合には表示されません。またシステム管理者ユーザは、Chatter Free ライセンスのカウンタを設定の中の組織情報から、Chatter Free プロファイルを設定のプロファイルから、それぞれ参照することができます。

システム管理者によって Chatter Invitations が有効化された場合、エンドユーザには何か通知がされますか？

Chatter Invitations が有効化されたら、エンドユーザに対して同僚を招待することを促すメッセージがポップアップ表示されます。（以下の画像を参照）



エンドユーザは Chatter Invitations 機能を使ってどのようにして同僚を招待するのですか？

エンドユーザは次の 2 通りの方法で salesforce.com を使っていないユーザを招待することができます。

- 1) 「人」タブから招待（下記画像参照）



2) Group 詳細ページから Group に招待 (下記画像参照)



ユーザは White list (予めシステム管理者により許可設定されたリスト) のドメインのユーザのみ招待することができます。(下記画像参照)

